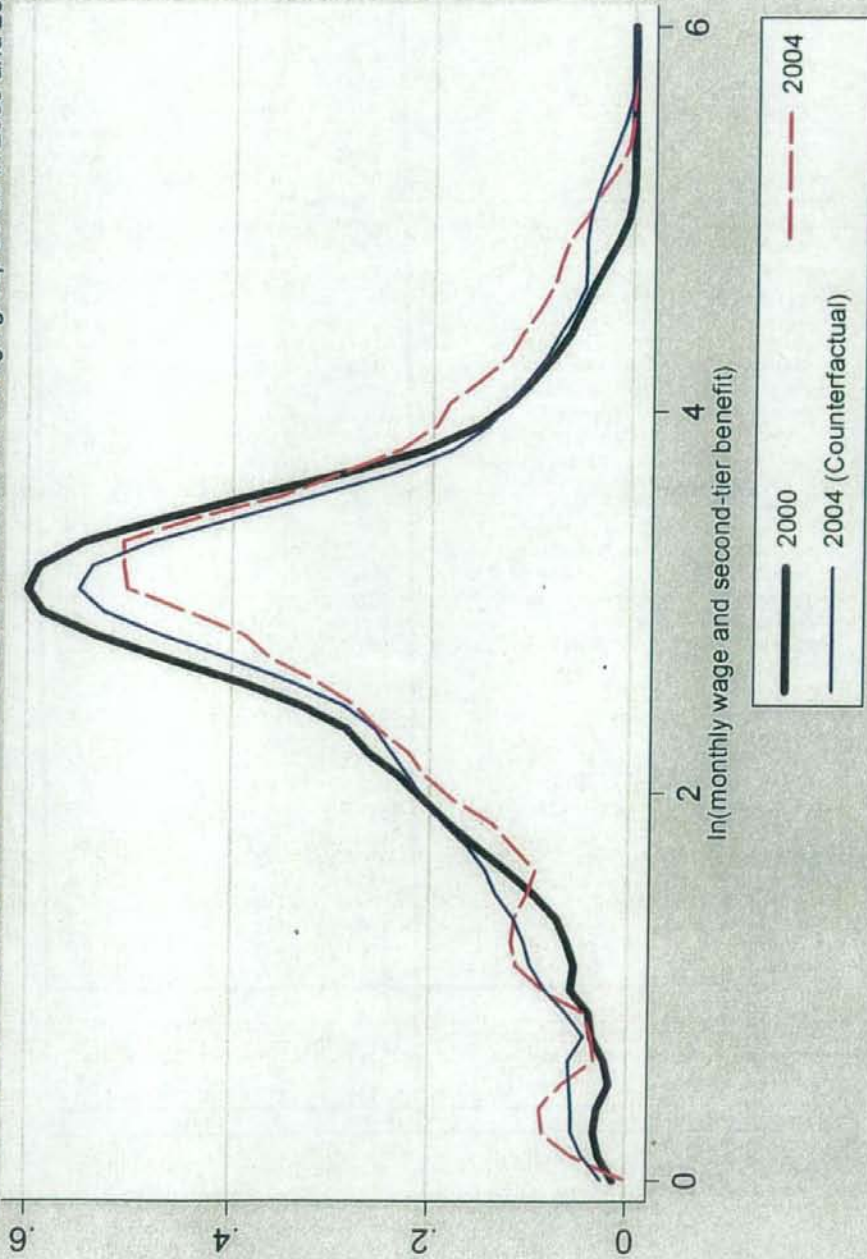


Appendix Figure 3 Log (wage and second-tier benefit) distribution for the age group 65-69 in 2000 and 2004



Appendix Table Summary statistics of the main variables in the decomposition analysis

	1983	1988	2000	2004
Male	0.768	0.696	0.718	0.737
Age		share		
age65	0.214	0.240	0.224	0.274
age66	0.243	0.247	0.226	0.213
age67	0.194	0.199	0.189	0.200
age68	0.183	0.174	0.193	0.162
age69	0.166	0.141	0.168	0.151
Type of job				
Expert or technical	0.101	0.095	0.109	0.172
Management	0.151	0.148	0.105	0.111
Administration	0.101	0.086	0.086	0.092
Sales	0.118	0.103	0.086	0.067
Services	0.052	0.083	0.096	0.116
Security guard	0.032	0.039	0.044	0.046
Agriculture, Forestry and Fishery	0.083	0.113	0.042	0.056
Transportation	0.014	0.023	-	-
Communication	0.000	0.003	-	-
Mining	0.002	0.000	-	-
Transportation and communication			0.287	0.211
Production workers (all)			0.125	0.122
Production workers (ceramic products)	0.011	0.001	-	-
Production workers (metal materials)	0.006	0.007	-	-
Production workers (chemical products)	0.005	0.003	-	-
Production workers (metal products)	0.029	0.027	-	-
Production workers (machinery products)	0.014	0.020	-	-
Production workers (transportation products)	0.008	0.009	-	-
Production workers (precision products)	0.012	0.003	-	-
Production workers (food products)	0.028	0.020	-	-
Production workers (spining products)	0.012	0.009	-	-
Production workers (clothing products)	0.032	0.029	-	-
Production workers (wood products)	0.012	0.016	-	-
Production workers (pulp/paper products)	0.005	0.010	-	-
Production workers (printing)	0.014	0.001	-	-
Production workers (plastic products)	0.009	0.007	-	-
Production workers (pelt products)	0.003	0.001	-	-
Production workers (others)	0.015	0.011	-	-
Production workers (operation)	0.002	0.003	-	-
Production workers (electronics)	0	0.003	-	-
Production workers (construction)	0.038	0.032	-	-
Production workers (transportation)	0.017	0.014	-	-
Production workers (miscellaneous)	0.072	0.080	-	-
Firm size				
1-4 persons	0.022	0.026		
5-29 persons	0.121	0.129		
30-99 persons	0.083	0.082		
100-299 persons	0.048	0.047		
300- persons	0.074	0.044		
governments	0.018	0.014		
Working days per week (S.E.)	5.406 (1.238)	4.709 (1.746)	4.646 (1.671)	4.431 (1.639)
Working hours per day (S.E.)	7.230 (2.257)	6.686 (2.214)	6.757 (2.350)	6.616 (2.275)
Number of observations	651	697	986	890

(Note) In addition to the variables in this table, we include indicator variables for each prefecture (47 prefectures) in the estimation.

## 主観的意識の対人間比較に関する研究：インターネット調査の概要

### ・「くらしと健康に関する意識調査」の実施概要・対象属性など

調査実施の概要は以下の通りである。

- A.調査目的：社会保障制度の核となる年金制度が、引退後の生活水準に与える影響を実証的に分析し、定量的に評価することを目的とする。
- B.調査対象：マクロミルモニターのうち50歳～64歳の男女（かつ年収のデータが確保できるモニター）
- C.調査地域：全国
- D.調査方法：インターネットリサーチ
- E.調査時期：2008年2月28日（木）～3月3日（月）
- F.調査実施機関：株式会社マクロミル
- G.有効回答数：6164サンプル（内訳は下表参照）

### ・セルの設定方法

回答者の属性については以下の通りである。回答者の属性は、性別（男女(2 カテゴリー)）、年齢（50～54歳、55～59歳、60～64歳(3 カテゴリー)）、学歴（中・高・高専卒と専門・短大・大学・大学院卒(2 カテゴリー)）、年収（400万円未満、400万円以上800万円未満、800万円以上(3 カテゴリー)）、地域（大都市・中都市・小都市・町村部（3 カテゴリー））に分けた。これらを合わせた108セル（ $2 \times 3 \times 2 \times 3 \times 3 = 108$ ）について、それぞれのセルの回答数ができるだけ均等になるように、回収を行った。

なお、50～64歳のモニター数は調査会社によれば約42000名である。モニターが登録の際にすでに調査会社に提供している属性データ（性別、年齢、住んでいる都道府県など）をもとに、その中から個人年収のデータを提供しているモニター（調査会社によれば約38000名）に限って、提供されていない回答者の属性（学歴及び住んでいる都市の規模）について、事前にスクリーニング調査を行った。これらについては、さらに細かい属性に分けようとしたが、セルの中のサンプル数に偏りが出たために（例えば、中学卒業者の割合は極端に少ない）、学歴については2つ、地域については4つのカテゴリーを採用した。

それぞれのセルの回答数については、以下の通りとなった。

性別	年齢	中・高・高専卒									専門・短大・大学・大学院卒								
		400万円未満			400万円以上～800万円未満			800万円以上			400万円未満			400万円以上～800万円未満			800万円以上		
		大都市	中都市	小都市・町村部	大都市	中都市	小都市・町村部	大都市	中都市	小都市・町村部	大都市	中都市	小都市・町村部	大都市	中都市	小都市・町村部	大都市	中都市	小都市・町村部
男性	50歳	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
	55歳	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
	60歳	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60

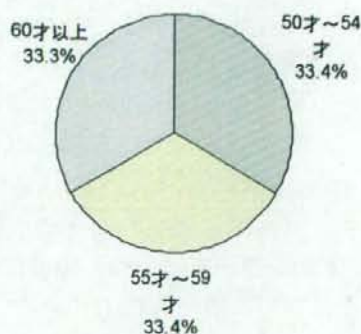
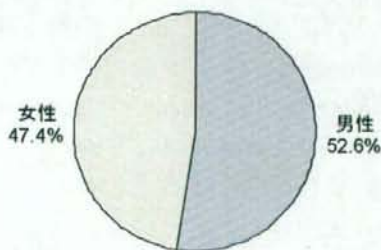
性別	年齢	中・高・高専卒									専門・短大・大学・大学院卒								
		400万円未満			400万円以上～800万円未満			800万円以上			400万円未満			400万円以上～800万円未満			800万円以上		
		大都市	中都市	小都市・町村部	大都市	中都市	小都市・町村部	大都市	中都市	小都市・町村部	大都市	中都市	小都市・町村部	大都市	中都市	小都市・町村部	大都市	中都市	小都市・町村部
女性	50歳	60	60	60	60	60	60	60	46	31	60	58	38	60	60	45	60	59	40
	55歳	60	60	60	60	60	60	60	46	31	60	58	38	60	60	45	60	59	40
	60歳	60	60	60	60	60	60	60	43	31	60	58	37	60	60	43	60	59	39

・回答者の詳細属性

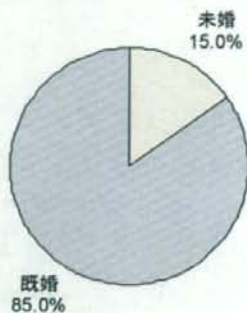
回答者の詳細な属性は以下の通りである。

1. 性別

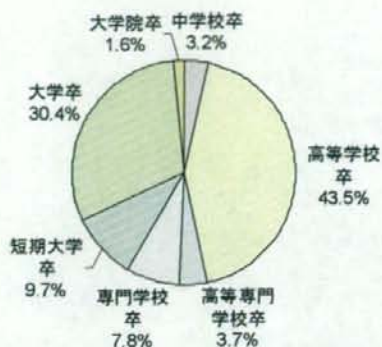
2. 年齢



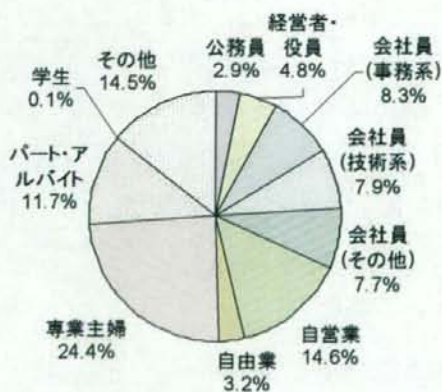
### 3. 未既婚



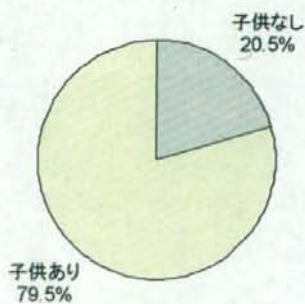
### 4. 最終学歴



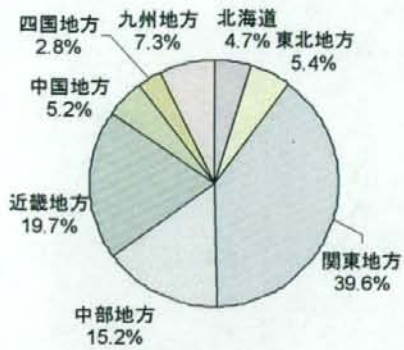
### 5. 職業



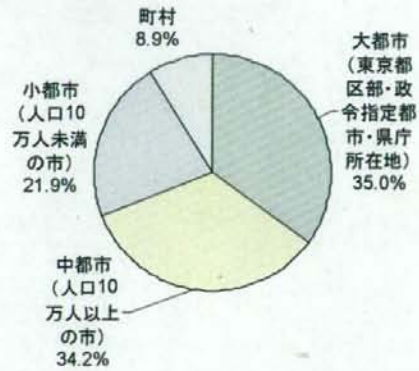
### 6. 子供の有無



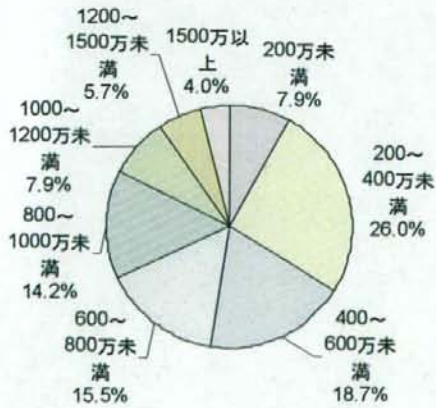
7. 居住地 1



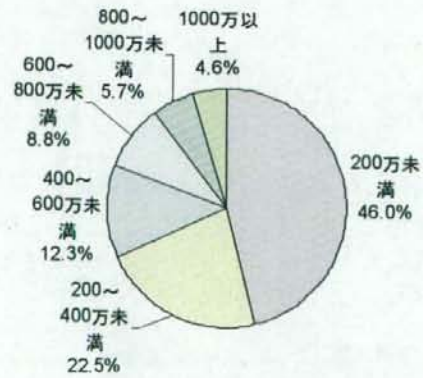
8. 居住地 2



9. 世帯年収



10. 個人年収



(3) 「くらしと健康に関する意識調査」の調査結果

(1) 肉体的な苦痛の頻度

(a) 自己評価

- ・性年代別には、年齢が高いほど苦痛があると答える割合はむしろやや減少する。男女別には、どの年代も女性の方が「苦痛がある」とする割合は高い。
- ・年収別には、線形の関係になく、年収が最も高いグループ（1200万円以上）と最も低いグループ（400万円以下）で「苦痛がある」とする割合がやや高い。
- ・学歴別には、最も高い大学院卒で「苦痛がある」と答える割合が高い。

		n=	%					TOP2	BOTTOM2
			□全くなかった	□少しあった	□まあまああった	□かなりあった	□非常にあった		
全体		(6,164)	22.5	46.1	17.3	10.2	3.9	68.6	14.1
性年代別	男性50～54歳	(1,080)	23.1	45.3	18.2	9.4	3.9	68.4	13.3
	男性55～59歳	(1,080)	27.8	45.6	15.6	8.0	3.1	73.3	11.0
	男性60～64歳	(1,080)	29.6	44.0	15.2	8.8	2.4	73.6	11.2
	女性50～54歳	(977)	13.3	47.8	20.1	12.7	6.1	61.1	18.8
	女性55～59歳	(977)	17.0	48.0	18.9	12.5	3.6	65.0	16.1
	女性60～64歳	(970)	22.6	46.3	16.2	10.5	4.4	68.9	14.9
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	22.4	44.8	17.7	10.7	4.4	67.2	15.1
	400～600万円未満	(1,155)	22.7	45.9	17.9	10.5	3.0	68.8	13.5
	600～800万円未満	(958)	23.3	46.5	16.9	9.5	3.9	69.7	13.4
	800～1000万円未満	(877)	21.9	47.2	16.6	10.6	3.6	69.1	14.3
	1000～1200万円以上	(487)	22.8	47.6	17.9	9.4	2.3	70.4	11.7
	1200万円以上	(600)	21.5	47.7	16.0	9.3	5.5	69.2	14.8
最終学歴別	中学校卒	(198)	19.2	41.4	22.7	12.1	4.5	60.6	16.7
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	23.1	45.1	18.2	9.8	3.7	68.2	13.5
	専門学校卒	(483)	22.6	47.4	15.7	9.9	4.3	70.0	14.3
	短期大学卒	(600)	17.7	49.0	17.7	11.7	4.0	66.7	15.7
	大学卒	(1,873)	23.5	46.6	16.0	10.3	3.7	70.1	13.9
	大学院卒	(100)	19.0	51.0	11.0	11.0	8.0	70.0	19.0

(b) VIGNETT

・性年代別には、自己評価と対照的に、年齢が高いほど苦痛があると答える割合は増加する。男女別にみても、自己評価と対照的に、どの年代も男性の方が「苦痛がある」とする割合は高い。

・年収別には、自己評価と同様に、線形の関係にない。年収が最も高いグループ（1200万円以上）で「苦痛がある」とする割合がやや高い。

・学歴別には、自己評価と同様に、最も高い大学院卒で「苦痛がある」と答える割合が高い。

		n=	%					TOP2	BOTTOM2
			□ 全くそう思わない	□ 少しそう思う	□ まあまあそう思う	□ かなりそう思う	□ 非常にそう思う		
性年代別	全体	(6,164)	22.4	44.5	22.9	9.0	1.2	66.9	10.2
	男性50～54歳	(1,080)	18.9	45.5	24.3	9.7	1.7	64.4	11.4
	男性55～59歳	(1,080)	19.2	42.6	25.0	11.9	1.3	61.8	13.2
	男性60～64歳	(1,080)	15.2	42.0	28.9	12.2	1.7	57.2	13.9
	女性50～54歳	(977)	29.4	44.8	19.3	5.8	0.6	74.2	6.4
	女性55～59歳	(977)	29.1	46.1	18.2	6.1	0.5	75.1	6.7
	女性60～64歳	(970)	24.3	46.1	20.8	7.5	1.2	70.4	8.8
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	23.0	41.9	24.3	9.7	1.1	64.9	10.8
	400～600万円未満	(1,155)	22.8	43.7	23.7	8.7	1.1	66.5	9.8
	600～800万円未満	(958)	21.6	48.9	20.7	7.8	1.0	70.5	8.9
	800～1000万円未満	(877)	23.3	44.6	22.0	8.8	1.4	67.8	10.1
	1000～1200万円以上	(487)	23.0	46.4	22.2	6.6	1.8	69.4	8.4
	1200万円以上	(600)	19.3	46.0	22.2	11.5	1.0	65.3	12.5
最終学歴別	中学校卒	(198)	22.2	41.9	27.3	8.6	0.0	64.1	8.6
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	21.9	44.0	23.4	9.3	1.4	65.9	10.7
	専門学校卒	(483)	23.8	47.6	19.7	8.1	0.8	71.4	8.9
	短期大学卒	(600)	29.5	43.8	19.8	6.3	0.5	73.3	6.8
	大学卒	(1,873)	20.9	44.6	23.5	9.5	1.4	65.6	10.9
	大学院卒	(100)	16.0	47.0	23.0	14.0	0.0	63.0	14.0



## (2) 睡眠の支障程度

### (a) 自己評価

・性年代別には、年齢と睡眠の支障の間には明確な関係はみられない。男女別には、どの年代も女性の方が「支障がある」とする割合はやや高い。男性の60歳代は8割以上が「支障がない」（「全くない」と「少しあった」の合計）と答えている。

・年収別には、線形の関係になく、年収が最も高いグループ（1200万円以上）と800-1000万円のグループ（400万円以下）で「支障がある」とする割合がやや高い。

・学歴別には、最も高い大学院卒と最も低い中学卒業で「支障がある」と答える割合が高い。

		n=	(% )				TOP2	BOTTOM2	
			全くなかった	少しあった	まあまああった	かなりあった	非常にあった		
全体		(6,164)	38.4	38.7	13.2	7.3	77.1	9.7	
性年代別	男性50~54歳	(1,080)	35.1	41.5	14.8	6.6	76.6	8.6	
	男性55~59歳	(1,080)	42.1	38.2	11.9	7.7	78.3	9.8	
	男性60~64歳	(1,080)	49.4	33.1	10.7	5.1	82.4	6.9	
	女性50~54歳	(977)	33.2	40.8	14.4	7.9	74.0	11.6	
	女性55~59歳	(977)	34.4	40.1	15.1	7.8	74.5	10.3	
	女性60~64歳	(970)	34.9	41.1	12.4	8.5	76.1	11.5	
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	37.7	37.9	14.5	7.5	75.6	9.9	
	400~600万円未満	(1,155)	37.4	39.0	14.4	7.0	76.4	9.3	
	600~800万円未満	(958)	38.8	40.7	12.2	6.4	79.5	8.2	
	800~1000万円未満	(877)	39.2	37.3	11.4	8.4	76.5	12.1	
	1000~1200万円以上	(487)	41.3	38.8	12.9	6.0	80.1	7.0	
	1200万円以上	(600)	38.5	39.7	10.8	8.2	78.2	11.0	
最終学歴別	中学校卒	(198)	32.8	36.9	14.1	11.6	69.7	16.2	
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	38.3	38.2	14.0	7.2	76.5	9.6	
	専門学校卒	(483)	37.3	39.8	12.6	7.9	77.0	10.4	
	短期大学卒	(600)	33.0	43.0	14.3	6.7	76.0	9.7	
	大学卒	(1,873)	40.7	38.7	12.1	6.8	79.3	8.6	
	大学院卒	(100)	47.0	28.0	6.0	13.0	75.0	19.0	

## (b) VIGNETT

・性年代別には、自己評価と異なり、年齢が高くなると「支障がある」と答える割合がやや低くなる。自己評価と異なり、どの年代も男性の方が「支障がある」とする割合はやや高い。

・年収別には、年収が1000万円以上の場合に「支障がある」とする割合がやや高く、2割を超えている。

・学歴別には、最も高い大学院卒で「支障がある」と答える割合が高い。

		n=	%				TOP2	BOTTOM2	
			全くそう思わない	少しそう思う	まあまあそう思う	かなりそう思う	非常にそう思う		
全体		(6,164)	12.5	40.1	27.8	17.6	20	52.6	19.6
性年代別	男性50~54歳	(1,080)	12.6	36.1	29.2	19.2	30	48.7	22.1
	男性55~59歳	(1,080)	12.8	38.8	27.2	19.4	19	51.6	21.2
	男性60~64歳	(1,080)	13.7	38.5	27.3	19.1	10	52.2	20.5
	女性50~54歳	(977)	10.1	40.6	29.1	17.7	25	50.8	20.2
	女性55~59歳	(977)	11.2	45.1	26.8	14.9	19	56.3	16.9
	女性60~64歳	(970)	14.3	42.4	27.0	14.6	16	56.7	16.3
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	14.0	39.7	27.6	16.5	22	53.8	18.6
	400~600万円未満	(1,155)	12.7	41.9	27.1	16.5	17	54.6	18.3
	600~800万円未満	(958)	11.2	40.0	28.9	18.4	16	51.1	19.9
	800~1000万円未満	(877)	10.8	40.4	28.8	17.9	21	51.2	20.0
	1000~1200万円以上	(487)	13.1	37.4	26.7	19.9	26	50.5	22.8
	1200万円以上	(600)	10.5	40.3	27.2	19.7	25	50.8	22.0
最終学歴別	中学校卒	(198)	18.2	42.9	21.7	15.2	20	61.1	17.2
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	12.2	39.2	28.8	17.6	20	51.5	19.7
	専門学校卒	(483)	11.4	43.3	26.7	16.6	21	54.7	18.6
	短期大学卒	(600)	14.2	41.2	28.0	15.3	16	55.3	16.7
	大学卒	(1,873)	12.2	40.2	26.9	18.6	20	52.4	20.7
	大学院卒	(100)	9.0	38.0	29.0	22.0	20	47.0	24.0

### (3) 歩行の支障程度

#### (a) 自己評価

- ・ 性年代別には、60 歳代以上で「支障がある」と答える割合がやや高い。男女別には、どの年代も女性の方が「支障がある」とする割合がわずかに高い。
- ・ 年収別には、年収が最も低いグループ（1200 万円以上）で「支障がある」とする割合がやや高い。
- ・ 学歴別には、最も低い中学卒業で「支障がある」と答える割合が高い。大学院卒では 9 割近くが「支障がない」と答えている。

		n	%					TOP2	BOTTOM2
			全くなかった	少しあった	まあまああった	かなりあった	非常にあった		
全体		(6,164)	63.4	23.8	7.0	3.6	2.1	87.2	5.7
性年代別	男性50～54歳	(1,080)	65.9	23.5	6.0	3.6	1.6	89.4	4.5
	男性55～59歳	(1,080)	64.6	23.2	7.3	3.2	1.6	87.9	4.8
	男性60～64歳	(1,080)	62.9	24.6	6.1	4.3	2.1	87.5	6.4
	女性50～54歳	(977)	60.9	24.9	7.9	3.7	2.7	85.8	6.3
	女性55～59歳	(977)	63.9	24.2	7.0	3.0	2.0	88.0	5.0
	女性60～64歳	(970)	62.1	22.5	8.1	4.7	2.8	84.5	7.3
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	60.6	24.8	7.7	3.9	3.0	85.4	6.9
	400～600万円未満	(1,155)	63.3	24.0	7.4	3.2	2.1	87.3	5.3
	600～800万円未満	(958)	66.6	22.3	6.4	3.2	1.5	88.9	4.7
	800～1000万円未満	(877)	63.9	23.9	6.7	4.2	1.3	87.8	5.5
	1000～1200万円以上	(487)	69.4	21.4	5.5	3.3	0.4	90.8	3.7
	1200万円以上	(600)	63.2	24.2	6.7	3.7	2.3	87.3	6.0
最終学歴別	中学校卒	(198)	57.6	24.2	8.6	6.6	3.0	81.8	9.6
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	62.0	24.6	7.9	3.7	1.8	86.6	5.5
	専門学校卒	(483)	62.7	23.0	6.6	5.0	2.7	85.7	7.7
	短期大学卒	(600)	61.8	23.7	7.7	3.5	3.3	85.5	6.8
	大学卒	(1,873)	66.8	22.9	5.6	2.9	1.8	89.6	4.8
	大学院卒	(100)	68.0	22.0	4.0	3.0	3.0	90.0	6.0

## (b)VIGNETT

・性年代別には、年齢が高くなると、男性の場合は「支障がある」と答える割合が増加する一方、女性の場合は男性よりも割合が低く、年齢によっても大きな変化はない。

・年収別には、収が最も高いグループ（1200万円以上）で「支障がある」とする割合がやや高い。

・学歴別には、学歴が高いほど「支障がある」と答える割合がやや高い（短期大学卒で低いのは、性別の影響と思われる）。

		n=	%				TOP2	BOTTOM2	
			□全くそう思わない	□少しそう思う	□まあまあそう思う	□かなりそう思う	□非常にそう思う		
全体		(6,164)	20.4	37.8	24.6	15.2	20.0	58.2	17.2
性年代別	男性50～54歳	(1,080)	17.8	36.9	25.6	17.0	22.7	54.6	19.7
	男性55～59歳	(1,080)	16.1	36.8	25.6	18.1	23.3	52.9	21.5
	男性60～64歳	(1,080)	14.8	33.9	27.3	21.1	22.9	48.7	24.0
	女性50～54歳	(977)	26.8	40.3	21.0	10.8	10.1	67.1	11.9
	女性55～59歳	(977)	24.5	40.0	22.7	11.9	10.9	64.5	12.8
	女性60～64歳	(970)	23.5	39.7	24.6	11.0	11.2	63.2	12.2
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	21.7	35.9	25.1	15.5	11.8	57.5	17.4
	400～600万円未満	(1,155)	19.8	40.5	23.6	14.1	11.9	60.3	16.0
	600～800万円未満	(958)	20.5	38.1	24.7	14.9	11.8	58.6	16.7
	800～1000万円未満	(877)	19.4	39.8	23.5	14.5	12.8	59.2	17.3
	1000～1200万円以上	(487)	22.0	34.7	25.9	15.4	12.0	56.7	17.5
	1200万円以上	(600)	16.8	38.5	25.0	17.7	12.0	55.3	19.7
最終学歴別	中学校卒	(198)	18.7	37.9	28.3	13.6	11.5	56.6	15.2
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	20.1	37.8	24.8	15.5	11.8	57.9	17.2
	専門学校卒	(483)	24.0	37.7	21.5	14.7	11.1	61.7	16.8
	短期大学卒	(600)	26.2	37.8	22.3	11.8	11.9	64.0	13.7
	大学卒	(1,873)	18.3	37.9	25.0	16.1	12.7	56.2	18.7
	大学院卒	(100)	17.0	36.0	29.0	15.0	13.0	53.0	18.0

#### (4) 集中力・記憶力の支障程度

##### (a) 自己評価

- ・ 性年代別には、非常に支障があると答える割合は小さい。男性の方やや低く、年齢によってやや割合は低下するが、女性は年齢との相関はない。
- ・ 年収別には、明確な傾向はみられない。
- ・ 学歴別には、最も高い大学院卒で割合がやや多いものの、全体としては大きな違いはない。



## (b)VIGNETT

・性年代別には、自己評価の場合と異なり、「支障がある」と答える割合が高いが、年齢によって男性の場合は「支障がある」と答える割合に変化はないが、女性の場合はわずかに増加する。ただし、男性よりは低い。

・年収別には、最も高いグループ（1200万円以上）で「支障がある」とする割合がやや高い。

・学歴別には、学歴が高いほど「支障がある」と答える割合がやや高い。

		n=	(% )				TOP2	BOTTOM2	
			□ 全くそう思わない	□ 少しそう思う	□ まあまあそう思う	□ かなりそう思う	□ 非常にそう思う		
全体		(6,164)	42.3	34.6	16.5	5.8	0.7	76.9	6.5
性年代別	男性50～54歳	(1,080)	38.4	35.1	17.5	7.7	1.3	73.5	9.0
	男性55～59歳	(1,080)	36.6	36.3	19.4	6.9	0.9	72.9	7.8
	男性60～64歳	(1,080)	33.1	38.5	20.0	7.7	0.6	71.7	8.3
	女性50～54歳	(977)	50.1	33.2	12.7	3.7	0.4	83.2	4.1
	女性55～59歳	(977)	49.1	33.4	13.0	3.9	0.6	82.5	4.5
	女性60～64歳	(970)	48.7	30.6	15.8	4.5	0.4	79.3	4.9
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	42.4	34.9	15.6	6.4	0.8	77.3	7.1
	400～600万円未満	(1,155)	41.7	34.9	18.7	4.2	0.4	76.6	4.7
	600～800万円未満	(958)	42.2	36.4	16.2	4.8	0.4	78.6	5.2
	800～1000万円未満	(877)	41.8	33.6	16.8	7.0	0.8	75.5	7.8
	1000～1200万円以上	(487)	45.6	31.0	16.2	6.2	1.0	76.6	7.2
	1200万円以上	(600)	41.5	34.7	16.0	6.5	1.3	76.2	7.8
最終学歴別	中学校卒	(198)	42.9	30.3	20.7	6.1	0.0	73.2	6.1
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	41.5	35.2	17.1	5.5	0.7	76.7	6.2
	専門学校卒	(483)	43.1	35.8	15.9	4.8	0.4	78.9	5.2
	短期大学卒	(600)	48.0	33.8	12.7	4.7	0.8	81.8	5.5
	大学卒	(1,873)	41.6	34.2	16.4	6.8	1.0	75.8	7.8
	大学院卒	(100)	41.0	33.0	19.0	7.0	0.0	74.0	7.0

(5) 息切れによる支障程度

(a) 自己評価

- ・ 性年代別には、明確な傾向はみられない。「支障がある」とする割合も非常に低い。
- ・ 年収別には、400-600万円の世帯で「支障がある」と答える割合がわずかながら高い。
- ・ 学歴別には、学歴が高いほど、「支障がある」と答える割合は低い。

		n=	%			TOP2	BOTTOM2
			全くなかった	少しあった	まあまああった		
			かなりあった	非常にあった			
全体		(6,164)	65.5	25.4	6.3	2.3	0.5
性年代別	男性50~54歳	(1,080)	65.6	25.7	5.9	2.3	0.5
	男性55~59歳	(1,080)	64.6	25.4	6.8	2.9	0.4
	男性60~64歳	(1,080)	66.9	24.9	5.1	2.8	0.3
	女性50~54歳	(977)	63.6	26.2	7.7	2.4	0.2
	女性55~59歳	(977)	65.5	25.6	6.6	1.5	0.8
	女性60~64歳	(970)	66.5	24.8	6.2	1.6	0.8
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	64.7	26.0	6.6	2.2	0.5
	400~600万円未満	(1,155)	65.5	23.8	6.8	3.5	0.5
	600~800万円未満	(958)	64.8	27.0	6.6	1.5	0.1
	800~1000万円未満	(877)	66.5	24.5	6.3	2.3	0.5
	1000~1200万円以上	(487)	67.8	24.4	6.0	1.6	0.2
	1200万円以上	(600)	65.8	26.2	4.7	2.2	1.2
最終学歴別	中学校卒	(198)	57.1	30.8	5.1	6.1	1.0
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	65.4	24.8	6.5	2.6	0.6
	専門学校卒	(483)	66.0	24.8	7.0	1.7	0.4
	短期大学卒	(600)	66.5	24.5	7.3	1.2	0.5
	大学卒	(1,873)	65.7	26.2	5.9	1.9	0.3
	大学院卒	(100)	69.0	26.0	3.0	2.0	0.0

## (b)VIGNETT

・性年代別には、自己評価と異なり、年齢が上昇するにつれて男性の場合は「支障がある」と答える割合が増加する。女性の場合は男性よりは割合は小さい。

・年収別には、年収が高まるにつれて、「支障がある」と答える割合はやや高くなる。

・学歴別には、学歴が高いほど「支障がある」と答える割合がやや高くなり、大学院卒で特に高い（4割）。

		n=	(% )					TOP2	BOTTOM2
			□全くそう思わない	□少しそう思う	□まあまあそう思う	□かなりそう思う	□非常にそう思う		
全体		(6,164)	9.0	34.8	26.7	25.2	4.3	43.9	29.5
性年代別	男性50~54歳	(1,080)	7.9	32.5	29.4	24.9	5.4	40.4	30.3
	男性55~59歳	(1,080)	6.9	33.7	26.9	27.1	5.4	40.6	32.5
	男性60~64歳	(1,080)	7.6	29.3	27.0	30.6	5.5	36.9	36.1
	女性50~54歳	(977)	10.4	37.5	26.1	23.0	3.0	47.9	26.0
	女性55~59歳	(977)	11.3	39.4	26.2	20.6	2.6	50.7	23.1
	女性60~64歳	(970)	10.6	37.7	24.0	24.1	3.5	48.4	27.6
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	9.1	35.8	27.3	23.4	4.4	44.9	27.8
	400~600万円未満	(1,155)	10.6	34.7	25.6	24.8	4.2	45.4	29.0
	600~800万円未満	(958)	7.7	34.9	27.2	26.1	4.1	42.6	30.2
	800~1000万円未満	(877)	9.2	33.0	26.6	27.3	4.0	42.2	31.2
	1000~1200万円以上	(487)	10.9	35.1	24.8	25.7	3.5	46.0	29.2
	1200万円以上	(600)	6.0	34.2	27.2	27.3	5.3	40.2	32.7
最終学歴別	中学校卒	(198)	12.6	32.3	25.3	27.3	2.5	44.9	29.8
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	9.3	34.9	26.4	25.8	3.6	44.2	29.5
	専門学校卒	(483)	8.9	34.8	28.4	24.4	3.5	43.7	28.0
	短期大学卒	(600)	11.8	38.0	24.2	21.7	4.3	49.8	26.0
	大学卒	(1,873)	7.5	34.3	27.8	25.0	5.4	41.8	30.4
	大学院卒	(100)	7.0	29.0	24.0	32.0	8.0	36.0	40.0



(6) 悲しみ・落ち込みの程度

(a) 自己評価

・ 性年代別には、男性よりも女性の方が「悲しむ・落ち込む」割合は高い。年齢に従って男女とも割合は低下する。

・ 年収別には、800-1000万円の世帯で「悲しむ・落ち込む」と答える割合がやや高く、1割を超えている。

・ 学歴別には、学歴が高いほど、「悲しむ・落ち込む」と答える割合は低い、  
「非常にあった」という割合は中卒と大学院卒に多い。

		n	%				TOP2	BOTTOM2	
			全くなかった	少しあった	まあまああった	かなりあった	非常にあった		
全体		(6,164)	39.4	40.3	10.8	6.4	3.0	79.7	9.5
性年代別	男性50~54歳	(1,080)	38.0	43.1	10.6	5.6	2.8	81.0	8.3
	男性55~59歳	(1,080)	42.7	39.4	10.7	4.7	2.4	82.1	7.1
	男性60~64歳	(1,080)	54.4	33.9	6.7	3.5	1.6	88.2	5.1
	女性50~54歳	(977)	27.6	44.1	13.2	9.9	5.1	71.8	15.0
	女性55~59歳	(977)	33.9	42.8	12.0	7.9	3.5	76.7	11.4
	女性60~64歳	(970)	38.1	39.2	12.0	7.6	3.1	77.3	10.7
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	37.2	42.3	11.3	6.3	2.9	79.5	9.2
	400~600万円未満	(1,155)	39.2	40.3	10.6	7.0	2.9	79.5	9.9
	600~800万円未満	(958)	37.5	41.4	11.4	6.8	2.9	78.9	9.7
	800~1000万円未満	(877)	42.2	36.7	10.1	7.1	3.9	78.9	10.9
	1000~1200万円以上	(487)	45.6	38.0	9.0	5.3	2.1	83.6	7.4
	1200万円以上	(600)	41.3	39.2	10.7	5.2	3.7	80.5	8.8
最終学歴別	中学校卒	(198)	43.9	30.8	12.6	7.6	5.1	74.7	12.6
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	39.6	41.0	10.3	6.2	2.9	80.6	9.1
	専門学校卒	(483)	37.7	41.8	8.9	8.3	3.3	79.5	11.6
	短期大学卒	(600)	34.5	42.2	13.3	6.8	3.2	76.7	10.0
	大学卒	(1,873)	40.9	38.8	11.2	6.4	2.8	79.7	9.1
	大学院卒	(100)	35.0	50.0	7.0	3.0	5.0	85.0	8.0

## (b)VIGNETT

・性年代別には、男性の方が女性よりも「悲しむ・落ち込む」と答える割合がやや多い。自己評価の場合と異なり、女性の場合年齢が高いほどやや割合は低下する。

・年収別には、年収が高まるにつれて、「悲しむ・落ち込む」と答える割合はやや高くなる。

・学歴別には、学歴が高いほど「悲しむ・落ち込む」と答える割合がやや高くなり、大学院卒で特に高い。

		n=	(%)				TOP2	BOTTOM2	
			全くそう思わない	少しそう思う	まあまあそう思う	かなりそう思う	非常にそう思う		
全体		(6,164)	22.6	41.4	23.4	11.3	64.0	12.6	
性年代別	男性50~54歳	(1,080)	22.3	41.2	22.5	12.5	63.5	14.0	
	男性55~59歳	(1,080)	19.6	39.9	25.8	13.0	59.5	14.6	
	男性60~64歳	(1,080)	20.6	39.3	26.1	12.3	59.8	14.1	
	女性50~54歳	(977)	25.3	42.2	21.1	10.3	67.5	11.5	
	女性55~59歳	(977)	25.6	43.7	20.7	9.2	69.3	10.0	
	女性60~64歳	(970)	22.6	42.8	23.9	9.8	65.4	10.7	
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	23.4	41.5	23.0	10.9	64.9	12.0	
	400~600万円未満	(1,155)	23.9	40.6	23.5	11.0	64.5	12.0	
	600~800万円未満	(958)	20.4	44.1	24.1	10.2	64.4	11.5	
	800~1000万円未満	(877)	21.8	41.7	22.8	11.9	63.5	13.7	
	1000~1200万円以上	(487)	22.4	39.2	24.4	13.1	61.6	14.0	
	1200万円以上	(600)	21.8	40.0	23.7	12.3	61.8	14.5	
最終学歴別	中学校卒	(198)	21.7	39.9	27.3	10.1	61.6	11.1	
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	21.8	42.1	23.9	11.0	64.0	12.1	
	専門学校卒	(483)	21.7	41.0	23.8	13.5	62.7	13.5	
	短期大学卒	(600)	26.2	42.2	19.0	11.7	68.3	12.7	
	大学卒	(1,873)	22.7	40.6	23.7	11.0	63.4	12.9	
	大学院卒	(100)	25.0	37.0	21.0	14.0	62.0	17.0	

## (7) 仕事の種類や量を制限した程度

## (a) 自己評価

- ・性年代別には、「非常にあった」「かなりあった」の合計は年齢が高いほどやや低下する。男性よりも女性の方が割合はやや高い。
- ・年収別には、明確な傾向はみられない。
- ・学歴別には、最も低い中卒でやや高い。

		n=	%			TOP2	BOTTOM2
			全くなかった	少しあった	まあまああった		
			かなりあった	非常にあった			
全体		(6,164)	64.1	24.3	6.6	3.3	1.8
性年代別	男性50~54歳	(1,080)	61.9	26.1	6.9	2.7	2.5
	男性55~59歳	(1,080)	69.0	20.8	6.1	2.6	1.5
	男性60~64歳	(1,080)	69.4	23.4	4.1	1.9	1.3
	女性50~54歳	(977)	60.7	23.6	8.6	5.3	1.7
	女性55~59歳	(977)	60.4	26.3	7.2	4.5	1.6
	女性60~64歳	(970)	62.3	25.5	7.1	3.3	1.9
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	63.7	23.5	6.9	3.9	2.1
	400~600万円未満	(1,155)	62.0	26.2	7.2	2.9	1.7
	600~800万円未満	(958)	65.0	24.5	6.9	2.3	1.3
	800~1000万円未満	(877)	65.5	23.1	5.7	4.2	1.5
	1000~1200万円以上	(487)	66.5	23.8	6.0	3.5	0.2
	1200万円以上	(600)	63.8	24.7	6.0	2.5	3.0
最終学歴別	中学校卒	(198)	60.6	22.7	8.6	4.5	3.5
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	65.1	23.7	6.6	3.1	1.5
	専門学校卒	(483)	62.9	25.1	6.4	3.9	1.7
	短期大学卒	(600)	61.7	25.3	6.5	4.8	1.7
	大学卒	(1,873)	64.4	24.4	6.3	3.0	1.9
	大学院卒	(100)	55.0	31.0	9.0	2.0	3.0

## (b-1)VIGNETT その1

- ・性年代別には、男性・女性とも4割程度が「非常にそう思う」「かなりそう思う」と答えている。年齢による差は大きくない。
- ・年収別には、最も高い1200万円以上で4割を超えている。
- ・学歴別には、大学院卒でやはり4割を超えている。

		n=					(%)	TOP2	BOTTOM2
全体		(6,164)	4.5	27.8	29.0	32.9	5.7	32.3	38.7
性年代別	男性50~54歳	(1,080)	5.7	26.2	31.0	29.6	7.4	31.9	37.0
	男性55~59歳	(1,080)	5.7	27.5	27.6	33.5	5.6	33.2	39.2
	男性60~64歳	(1,080)	4.6	27.3	29.2	32.9	6.0	31.9	38.9
	女性50~54歳	(977)	3.1	27.7	30.6	33.7	4.9	30.8	38.6
	女性55~59歳	(977)	3.7	28.2	29.3	34.3	4.5	31.9	38.8
	女性60~64歳	(970)	4.1	29.8	26.5	34.0	5.6	33.9	39.6
世帯年収別	400万円未満	(2,087)	4.6	27.6	29.0	32.6	6.2	32.2	38.8
	400~600万円未満	(1,155)	4.0	28.1	30.3	33.3	4.2	32.1	37.6
	600~800万円未満	(958)	4.6	27.9	29.1	33.1	5.3	32.5	38.4
	800~1000万円未満	(877)	4.8	26.9	29.0	33.8	5.6	31.7	39.3
	1000~1200万円以上	(487)	6.2	28.1	29.6	30.8	5.3	34.3	36.1
	1200万円以上	(600)	3.7	28.3	26.3	33.7	8.0	32.0	41.7
最終学歴別	中学校卒	(198)	7.1	26.8	29.3	32.3	4.5	33.8	36.9
	高等学校卒/高等専門学校卒	(2,910)	4.7	26.7	29.9	33.1	5.7	31.4	38.7
	専門学校卒	(483)	2.9	30.6	26.7	35.0	4.8	33.5	39.8
	短期大学卒	(600)	4.3	28.5	28.0	34.0	5.2	32.8	39.2
	大学卒	(1,873)	4.5	28.5	28.9	31.8	6.3	33.0	38.1
	大学院卒	(100)	4.0	29.0	24.0	37.0	6.0	33.0	43.0